

(1) 教職課程の履修について

① 教職課程について

本学には教育職員免許状（以下、教員免許という。）を取得するために必要な、文部科学大臣の認定する教職課程が設けられている。教員免許を取得しようとする者は、「教育職員免許法」に基づき、本学が定める教職に関する単位を卒業要件とは別に修得しなければならない。また、卒業に関わる科目の中でも、特に指定する幾つかの科目を履修することが義務付けられている。

教員免許の取得に至るまでに、教員の社会的責務の重要性から、本学が定める所定の申し込みや説明会の出席など様々な手続きが必要となっているので、1年次から計画的に履修するよう、特に注意することが望まれる。また、ガイダンスには必ず出席しなければならない。

なお、文学部教育学科の教員養成課程については、別途、履修について定めている。

② 本学の教職課程で取得できる免許状の種類・教科

文学部	文学科日本文学専攻	中学校教諭一種免許状・国語 高等学校教諭一種免許状・国語
	文学科英米文学専攻	中学校教諭一種免許状・英語 高等学校教諭一種免許状・英語
	文学科歴史学専攻	中学校教諭一種免許状・社会 高等学校教諭一種免許状・地理歴史
経済学部	経済学科	高等学校教諭一種免許状・公民
	経営学科	高等学校教諭一種免許状・商業
経済情報学部	経済情報学科	高等学校教諭一種免許状・情報
芸術学部	芸術学科	中学校教諭一種免許状・美術 高等学校教諭一種免許状・美術 高等学校教諭一種免許状・工芸
スポーツ科学部	スポーツ科学科	中学校教諭一種免許状・保健体育 高等学校教諭一種免許状・保健体育
栄養学部	栄養学科	栄養教諭一種免許状

③ 法律に定められている規定

イ. 「教育職員免許法第5条別表第1」に定められている規定

所要資格		基礎資格	大学において修得することを必要とする最低 単位数
免許状の種類			教科及び教職に関する科目
中学校教諭	一種免許状	学士の学位を有すること	5 9
高等学校教諭	一種免許状	学士の学位を有すること	5 9

ロ、「教育職員免許法第5条別表第2の2」に定められている規定

所要資格		基礎資格	大学において修得することを必要とする栄養に係る教育及び教職に関する科目の最低単位数
免許状の種類			
栄養教諭	一種免許状	学士の学位を有すること、かつ、栄養士法第二条第三項の規定により管理栄養士の免許を受けていること又は同法第五条の三第四号の規定により指定された管理栄養士養成施設の課程を修了し、同法第二条第一項の規定により栄養士の免許を受けていること。	22

ハ、「教育職員免許法施行規則第66条の6」に定められている規定

日本国憲法2単位、体育2単位、外国語コミュニケーション2単位、情報機器の操作2単位を修得していること。

④ 本学で修得すべき単位

各教科の教員免許の取得を目指す者は、次表Ⅰ・Ⅲに示されている科目の中から必要単位を修得しなければならない。また、次表Ⅴ「教育職員免許法施行規則第66条の6」に該当する科目を修得しなければならない。

中学校の教員免許の取得を希望する者は、別途7日間の介護等の体験（教職ガイダンスで指示する）が必要である。以上の要件を満たした上で、免許状の申請を行い、卒業と同時に教員免許を取得することができる。

栄養教諭の免許の取得を目指す者は、次表Ⅱ・Ⅳに示されている科目の中から必要単位を修得しなければならない。また、次表Ⅴ「教育職員免許法施行規則第66条の6」に該当する科目を修得しなければならない。

以上の条件を満たした上で、免許状の申請を行い、卒業後に教員免許を取得することができる。

⑤ 教育実習・栄養教育実習

4年次の「教育実習（中・高）」「栄養教育実習」の履修は、原則として、3年次までの指定された科目の単位をすべて修得した者に限り認めている。

また、3年次終了までに授業態度、関係科目修得状況などにより、実習生としてふさわしくないと本学が判断した場合に履修を認めないことがある。

「教育実習（中・高）」「栄養教育実習」の詳細については、教職ガイダンス及び説明会等で別途指示するので、該当学生は、これらの会合には必ず出席しなければならない。

「教育実習（中・高）」については、原則として本学の附属校及び協力校で実施する。実施にあたっては「各教科の指導法」を修得していることが必須条件である。「学校体験活動」については、原則として本学の附属校及び協力校で実施する。

⑥ 教職課程履修費

本課程履修者は履修費（3年次後期30,000円、4年次前期15,000円）を要する。

⑦ 文学部文学科各専攻での履修科目について

文学部文学科の日本文学専攻・英米文学専攻・歴史学専攻に置かれた教職課程に関して、教科に関する専門的事項の必修科目のうち専門教育科目は、当該専攻の学生のみが受講できる。

上記の当該専攻の学生のみが受講できる科目を、他の学生が受講したい場合には、事前に各授業科目担当の教員から履修許可の内諾を得た上で、「他専攻履修願」を提出する必要がある。

I. 教育の基礎的理解に関する科目等（中学校一種・高等学校一種）（共通開講）

免許法上の科目区分	授業科目名	単位数		配当年次	備考	
		必修	選択必修			
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2		1年後期	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職論	2		1年前期	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育行政・制度論	2		2年前期	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学修の過程	教育心理学	2		2年前期	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育概論	1		2年前期	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論	2		1年後期	
道徳・総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育論	2		2年前期	中免のみ
	総合的な学習の時間の指導法	特別活動と総合的な学習の時間の理論と実践	2		3年前期	
	特別活動の指導法					
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	教育方法・技術論	2		2年後期	
	生徒指導の理論及び方法	生徒・進路指導論	2		2年後期	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法					
教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談	2		3年後期		
教育実践に関する科目	教育実習	教育実地研究 教育実習（中・高）	2 3		3年前期 4年前期	
	学校体験活動	学校体験活動		1	3年前期	
	教職実践演習	教職実践演習（中・高）	2		4年後期	
合 計			28	1		

注1 中学校一種取得の場合は28単位、高等学校一種取得の場合は「道徳教育論」を除く26単位を修得すること。

注2 表中の科目は、卒業要件に含まれない。

Ⅱ. 教育の基礎的理解に関する科目等（栄養教諭）

免許法上の科目区分	授業科目名	単位数		配当年次	備考	
		必修	選択必修			
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2		1年後期	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職論	2		1年前期	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育行政・制度論	2		2年前期	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学修の過程	教育心理学	2		2年前期	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育概論	1		2年前期	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論	2		1年後期	
道徳・総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳、総合的な学習の時間及び特別活動に関する内容	道徳教育論	2		2年前期	
		特別活動と総合的な学習の時間の理論と実践	2		3年前期	
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	教育方法・技術論	2		2年後期	
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論	2		2年後期	
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談	2		3年後期	
教育実践に関する科目	栄養教育実習	栄養教育実習事前事後指導 栄養教育実習	1 1		4年前期 4年前期	
	教職実践演習	教職実践演習（栄養教諭）	2		4年後期	
	合 計		25			

注1 表中の科目は、卒業要件に含まれない。

Ⅲ. 教科及び教科の指導法に関する科目

〈○付数字は教職必修〉

【文学科 日本文学専攻】

中学校一種（国語）・高等学校一種（国語）

区 分	授業科目	単位数
国語学 (音声言語及び 文章表現に関 するものを含 む。)	日本語学概説Ⅰ	②
	日本語学概説Ⅱ	②
	日本語史概説Ⅰ	2
	日本語史概説Ⅱ	2
	日本語文法Ⅰ	2
	日本語文法Ⅱ	2
	日本語学演習	4
	日本語表現法Ⅰ	②
	日本語表現法Ⅱ	②
国文学(国文学 史を含む。)	日本文学概説Ⅰa	①
	日本文学概説Ⅰb	①
	日本文学概説Ⅱa	①
	日本文学概説Ⅱb	①
	日本文学史Ⅰ	②
	日本文学史Ⅱ	②
	古典文学講読Ⅰ	2
	古典文学講読Ⅱ	2
	近・現代文学講読A	2
	近・現代文学講読B	2
	評論の読み方	2
	地域と文学a	1
	地域と文学b	1
	古典文学演習	4
近・現代文学演習A	4	
近・現代文学演習B	4	
近・現代文学演習C	4	
漢文学	漢文学講読Ⅰ	②
	漢文学講読Ⅱ	②
書道(書写を中 心とする。)	書道(書写実習)※	② 中免のみ
各教科の指導法 (情報機器及び 教材の活用を含 む。)	国語科教育法Ⅰ※	4
	国語科教育法Ⅱ	④
合 計	中学校一種 : 31 単位以上 高等学校一種 : 33 単位以上	

※「書道(書写実習)」「国語科教育法Ⅰ」は中学校必修

【文学科 英米文学専攻】

中学校一種（英語）・高等学校一種（英語）

区 分	授業科目	単位数
英語学	英語学概論Ⅰ	②
	英語学概論Ⅱ	2
	英語文法論Ⅰ	2
	英語文法論Ⅱ	2
	英語学講読Ⅰ	2
	英語学講読Ⅱ	2
	英語学演習Ⅰ	4
	英語学演習Ⅱ	4
	言語習得研究Ⅰ	2
	言語習得研究Ⅱ	2
英語文学	英米文学概論Ⅰ	②
	英米文学概論Ⅱ	2
	英米文学講読Ⅰ	2
	英米文学講読Ⅱ	2
	原典講読Ⅰ	2
	原典講読Ⅱ	2
	英米文学演習Ⅰ	4
	英米文学演習Ⅱ	4
英語コミュニケ ーション	English Presentation (Intermediate)Ⅰ	②
	English Presentation (Intermediate)Ⅱ	②
	World Culture through EnglishⅠ	②
	World Culture through EnglishⅡ	②
	English Writing	2
	English DiscussionⅠ English DiscussionⅡ	2 2
異文化理解	英米文化論Ⅰ	②
	英米文化論Ⅱ	②
	海外留学	4
各教科の指導法 (情報機器及び 教材の活用を含 む。)	英語科教育法Ⅰ※	4
	英語科教育法Ⅱ	④
合 計	中学校一種 : 31 単位以上 高等学校一種 : 33 単位以上	

※「英語科教育法Ⅰ」は中学校必修

【文学科 歴史学専攻】

中学校一種（社会）

区 分	授業科目	単位数
日本史・外国史	日本史概説Ⅰ	②
	日本史概説Ⅱ	②
	西洋史概説Ⅰ	②
	西洋史概説Ⅱ	②
	東洋史概説Ⅰ	②
	東洋史概説Ⅱ	②
	考古学概説Ⅰ	2
	考古学概説Ⅱ	2
	文献資料研究法Ⅰ	2
	文献資料研究法Ⅱ	2
	東洋史文献講読Ⅰ	2
	東洋史文献講読Ⅱ	2
	西洋史文献講読Ⅰ	2
	西洋史文献講読Ⅱ	2
	地理学(地誌を含む。)	人文地理学概説Ⅰ
人文地理学概説Ⅱ		2
自然地理学概説Ⅰ		②
自然地理学概説Ⅱ		②
地誌		②
「法律学、政治学」	政治学概論	②
	西洋政治史	2
「社会学、経済学」	社会学Ⅰ	②
	社会学Ⅱ	②
	経済学Ⅰ	2
	経済学Ⅱ	2
	日本経済史	2
「哲学、倫理学、宗教学」	哲学Ⅰ	②
	哲学Ⅱ	②
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	社会科・地歴科教育法	④
	社会科・公民科教育法	④
合 計	中学校一種：38 単位以上	

高等学校一種（地理歴史）

区 分	授業科目	単位数
日本史	日本史概説Ⅰ	②
	日本史概説Ⅱ	②
	考古学概説Ⅰ	2
	考古学概説Ⅱ	2
	古文書学演習Ⅰ	2
	古文書学演習Ⅱ	2
	文献資料研究法Ⅰ	2
	文献資料研究法Ⅱ	2
外国史	東洋史概説Ⅰ	②
	東洋史概説Ⅱ	②
	西洋史概説Ⅰ	②
	西洋史概説Ⅱ	②
	東洋史文献講読Ⅰ	2
	東洋史文献講読Ⅱ	2
	西洋史文献講読Ⅰ	2
	西洋史文献講読Ⅱ	2
	東洋史演習Ⅰ	2
	東洋史演習Ⅱ	2
人文地理学・自然地理学	人文地理学概説Ⅰ	②
	人文地理学概説Ⅱ	2
	自然地理学概説Ⅰ	②
	自然地理学概説Ⅱ	②
地誌	地誌	②
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	社会科・地歴科教育法	④
合 計	高等学校一種：33 単位以上	

(○付数字は教職必修)

【経済学科】

高等学校一種（公民）

区 分	授業科目	単位数
「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	法律学概論	②
	民法Ⅰ	2
	民法Ⅱ	2
	政治学概論	②
	政治学	2
「社会学、経済学（国際経済を含む。）」	社会学Ⅰ	②
	マクロ経済学Ⅰ	②
	マクロ経済学Ⅱ	2
	ミクロ経済学Ⅰ	②
	ミクロ経済学Ⅱ	2
	国際経済	②
	現代経済論Ⅰ	2
	現代経済論Ⅱ	2
	労働経済学	2
	財政学Ⅰ	2
	財政学Ⅱ	2
	経済学史	2
	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	哲学Ⅰ
哲学と倫理		②
心理学の基礎		②
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）」	公民科教育法	④
合 計	高等学校一種：33 単位以上	

【経営学科】

高等学校一種（商業）

区 分	授業科目	単位数	
商業の関係科目	経営学基礎Ⅰ	②	
	経営学基礎Ⅱ	2	
	経営管理論Ⅰ	②	
	経営管理論Ⅱ	2	
	商法Ⅰ	②	
	商法Ⅱ	2	
	会計学基礎Ⅰ	②	
	会計学基礎Ⅱ	2	
	財務会計Ⅰ	②	
	財務会計Ⅱ	2	
	原価計算Ⅰ	②	
	原価計算Ⅱ	2	
	経営分析	2	
	マーケティング論Ⅰ	②	
	マーケティング論Ⅱ	②	
	消費者行動論	②	
	観光と経済	②	
	ビジネス戦略	2	
	企業価値評価	2	
	人的資源管理	②	
	プログラミング基礎	②	
	職業指導	職業指導	②
	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）」	商業科教育法	④
合 計	高等学校一種：33 単位以上		

〈○付数字は教職必修〉

【経済情報学科】

高等学校一種（情報）

区 分	授業科目	単位数
情報社会・情報倫理	情報社会論 情報倫理	② 2
コンピュータ・情報処理（実習を含む。）	経済情報学Ⅰ 経済情報学Ⅱ 社会データ分析 金融データ分析 プログラミングⅠ プログラミングⅡ 経営科学Ⅰ 経営科学Ⅱ 機械学習Ⅰ 機械学習Ⅱ	② 2 2 2 2 2 2 2 2 2
情報システム（実習を含む。）	情報科学Ⅰ 情報科学Ⅱ 情報技術基礎Ⅰ 情報技術基礎Ⅱ	② 2 2 2
情報通信ネットワーク（実習を含む。）	ネットワークと情報セキュリティ 情報通信ネットワークⅠ 情報通信ネットワークⅡ	2 ② 2
マルチメディア表現・マルチメディア技術（実習を含む。）	マルチメディア表現と技術Ⅰ マルチメディア表現と技術Ⅱ	② 2
情報と職業	情報と職業	②
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	情報科教育法	④
合 計	高等学校一種：33 単位以上	

〈○付数字は教職必修〉

【芸術学科】

中学校一種（美術）

区 分	授業科目	単位数
絵画(映像メディア表現を含む。)	絵画実習	②
	絵画Ⅰ	4
	絵画Ⅱ	4
	絵画Ⅲ	4
	絵画Ⅳ	4
	デッサン	②
	版画基礎	2
	映像論	②
彫刻	彫刻基礎	②
デザイン(映像メディア表現を含む。)	基礎造形論Ⅰ	2
	基礎造形論Ⅱ	2
	デザイン演習Ⅰ	④
	デザイン演習Ⅱ	4
	デザイン基礎	2
	メディア基礎	2
工芸	工芸史	②
	工芸概論	②
	工芸実習	②
	工芸Ⅰ	4
	工芸Ⅱ	4
	工芸Ⅲ	4
	工芸Ⅳ	4
	美術材料学	2
美術理論・美術史 (鑑賞並びに日本の 伝統美術及びアジア の美術を含む。)	日本美術史	②
	東洋美術史	②
	美術概論	②
各教科の指導法 (情報機器及び 教材の活用を含 む。)	美術科教育法Ⅰ	④
	美術科教育法Ⅱ	④
合 計	中学校一種：32 単位以上	

高等学校一種（美術）

区 分	授業科目	単位数
絵画(映像メディア表現を含む。)	絵画実習	②
	絵画Ⅰ	4
	絵画Ⅱ	4
	絵画Ⅲ	4
	絵画Ⅳ	4
	デッサン	②
	版画基礎	2
	映像論	②
彫刻	彫刻基礎	②
デザイン(映像メディア表現を含む。)	基礎造形論Ⅰ	2
	基礎造形論Ⅱ	2
	デザイン演習Ⅰ	④
	デザイン演習Ⅱ	4
	デザイン基礎	2
	メディア基礎	2
美術理論・美術史(鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。)	日本美術史	②
	東洋美術史 美術概論	② ②
各教科の指導法 (情報機器及び 教材の活用を含 む。)	美術科教育法Ⅱ	④
合 計	高等学校一種：33 単位以上	

高等学校一種（工芸）

区 分	授業科目	単位数
図法・製図	図学	②
デザイン	基礎造形論Ⅰ	2
	基礎造形論Ⅱ	2
	デザイン演習Ⅰ	④
	デザイン演習Ⅱ	4
	デザイン基礎	2
	メディア基礎	2
工芸制作(プロダクト制作を含む。)	工芸実習	②
	工芸Ⅰ	4
	工芸Ⅱ	4
	工芸Ⅲ	4
	工芸Ⅳ	4
工芸理論・デザイン理論・美術史(鑑賞並びに日本の伝統工芸及びアジアの工芸を含む。)	工芸史	②
	工芸概論	②
	日本美術史	②
	東洋美術史	②
	デザイン概論Ⅰ	②
	デザイン概論Ⅱ	②
	美術材料学	2
各教科の指導法 (情報機器及び 教材の活用を含 む。)	工芸科教育法	④
合 計	高等学校一種：33 単位以上	

【スポーツ科学科】 (○付数字は教職必修)

中学校一種(保健体育)・高等学校一種(保健体育)

区 分	授業科目	単位数
体育実技	スポーツ実技Ⅰ(水泳)	①
	スポーツ実技Ⅱ(体づくり・ニュースポーツ)	①
	スポーツ実技Ⅲ(陸上)	①
	スポーツ実技Ⅳ(テニス・バドミントン)	①
	スポーツ実技Ⅴ(バレーボール)	①
	スポーツ実技Ⅵ(ダンス)	①
	スポーツ実技Ⅶ(器械運動・トランポリン)	①
	スポーツ実技Ⅷ(柔道・剣道)	①
	スポーツ実技Ⅸ(ソフトボール)	①
	スポーツ実技Ⅹ(野外スポーツ)	1
「体育原理、体育心理学、体育経営管理、学、体育社会学、体育史」・運動学(運動方法学を含む。)	体育原理	②
	スポーツ心理学	②
	スポーツ経営管理	②
	地域とスポーツ	②
	運動学	②
	体育史	②
	トレーニング論	2
	スポーツ文化論	2
	スポーツボランティア論	2
	スポーツボランティア演習	2
	スポーツ測定評価	2
	運動処方	2
	スポーツコンディショニング論	2
	コーチング論	2
	メンタルトレーニング論	2
スポーツ技術・戦術論	2	
スポーツ競技の心理	2	
競技者育成システム	2	
生理学(運動生理学を含む。)	運動生理学	②
	スポーツ栄養学	2
	健康科学	2
衛生学・公衆衛生学	機能的解剖学	2
	衛生・公衆衛生学	②
学校保健(小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。)	病理学	2
	学校保健	②
各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	スポーツ医学(救急処置を含む)	②
	保健体育科教育法Ⅰ※	4
合 計	保健体育科教育法Ⅱ	④
	中学校一種 : 37 単位以上 高等学校一種 : 42 単位以上	

※「保健体育科教育法Ⅰ」は中学校必修

IV. 栄養に係る教育に関する科目

【栄養学科】 (○付数字は教職必修)

栄養教諭一種

区 分	授業科目	単位数
栄養教諭の役割及び職務内容に関する事項	学校栄養教育法	②
食生活に関する歴史的及び文化的事項	食に関する指導法	②
食に関する指導の方法に関する事項		
合 計	栄養教諭一種 : 4 単位	

V. 教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定められた科目

所属する学部で定められた、「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「情報機器の操作」の各科目を修得する必要がある。

学 部	区 分	該当科目	単位数	備 考
文学部	日本国憲法	法学Ⅱ(日本国憲法)	2	
	体育	スポーツ科学	2	
	外国語コミュニケーション	English Communication I	2	
		English Communication II	2	
	情報機器の操作	コンピュータ基礎演習Ⅰ	2	
経済学部	日本国憲法	法学(日本国憲法)	2	
	体育	スポーツ科学	2	
	外国語コミュニケーション	英語Ⅰ	2	
		英語Ⅱ	2	
情報機器の操作	コンピュータ基礎演習Ⅰ	2		
経済情報学部	日本国憲法	法学(日本国憲法)	2	
	体育	スポーツ科学	2	
	外国語コミュニケーション	英語Ⅰ	2	
		英語Ⅱ	2	
情報機器の操作	コンピュータ基礎演習Ⅰ	2		
芸術学部	日本国憲法	法学(日本国憲法)	2	
	体育	スポーツ科学	2	
	外国語コミュニケーション	英語Ⅰ	2	
		英語Ⅱ	2	
情報機器の操作	コンピュータ基礎演習Ⅰ	2		
スポーツ科学部	日本国憲法	法学(日本国憲法)	2	
	体育	スポーツ科学	2	
	外国語コミュニケーション	英語Ⅰ	2	
		英語Ⅱ	2	
情報機器の操作	コンピュータ基礎演習Ⅰ	2		
栄養学部	日本国憲法	法学(日本国憲法)	2	
	体育	スポーツ科学	2	
	外国語コミュニケーション	英語Ⅰ	2	
		英語Ⅱ	2	
情報機器の操作	コンピュータ基礎演習Ⅰ コンピュータ基礎演習Ⅱ	2 2	} これら 2 科目より 1 科目選択必修	

VI. 介護等の体験

中学校の教員免許取得を希望する学生は、介護等の体験（特別支援学校 2 日間、社会福祉施設 5 日間の合計 7 日間）を行わなくてはならない。介護等の体験は、本学では原則 3 年次に、体験希望者についてガイダンス及び申し込みを行う。

体験希望者は、社会福祉施設に対する費用を別途払わなくてはならない。

(2) 教員養成課程の履修について(教育学科)

① 教員養成課程について

文学部教育学科には、幼稚園教諭一種、小学校教諭一種、中学校教諭一種（英語）の教員免許取得を目的とした教員養成課程が設けられている。

教員を志望する者は、教育職員免許法及び本学が定める所定の単位修得のみを考えるのではなく、各科目の成績が優秀であるようにすること、将来教員となる人間としてふさわしい言動や態度を心がけ、高度の良識と豊かな教養を身につけるよう努力することが必要である。

② 文学部教育学科で取得できる免許状の種類・教科

文学部	教育学科	幼稚園教諭一種免許状 小学校教諭一種免許状 中学校教諭一種免許状（英語）
-----	------	--

③ 法律に定められている規定

イ、「教育職員免許法第5条別表第1」に定められている規定

免許状の種類	基礎資格	所要資格
		大学において修得することを必要とする最低単位数 教科及び教職に関する科目
幼稚園教諭一種免許状	学士の学位を有すること	5 1
小学校教諭一種免許状	学士の学位を有すること	5 9
中学校教諭一種免許状(英語)	学士の学位を有すること	5 9

ロ、「教育職員免許法施行規則第66条の6」に定められている規定

日本国憲法2単位、体育2単位、外国語コミュニケーション2単位、情報機器の操作2単位を修得していること。

④ 専門科目

<領域及び保育内容の指導法に関する科目>

(1) 幼稚園一種の場合

○領域に関する専門的事項

各科目に含めること が必要な事項	授業科目	単位数	備考
国語	国語（書写含む）	②	○付数字は必修科目
算数	算数	②	
生活	生活	②	
音楽	音楽基礎	②	
	音楽演習	1	
図画工作	図画工作	②	
	造形演習	1	
体育	体育Ⅰ	②	
	体育Ⅱ（リズムダンス）	1	

○保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）

科目区分	授業科目	単位数	備考
保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	保育内容総論	①	○付数字は必修科目
	保育内容（健康）	②	
	保育内容（人間関係）	②	
	保育内容（環境）	②	
	保育内容（ことば）	②	
	保育内容（表現）	②	
	保育内容演習（健康）	①	
	保育内容演習（人間関係）	①	
	保育内容演習（環境）	①	
	保育内容演習（ことば）	①	
	保育内容演習（表現）	①	

<教科及び教科の指導法に関する科目>

(1) 小学校一種の場合

○教科に関する専門的事項

各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数	備考
国語（書写を含む。）	国語（書写含む）	②	○付数字は必修科目
社会	社会	②	
算数	算数	②	
理科	理科	②	
生活	生活	②	
音楽	音楽基礎 音楽演習	② 1	
図画工作	図画工作 造形演習	② 1	
家庭	家庭 家庭科実習	② 1	
体育	体育Ⅰ 体育Ⅱ（リズムダンス）	② 1	
外国語	小学校英語	②	

○各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）

各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数	備考
国語（書写を含む。）	初等教科教育法（国語）	②	○付数字は必修科目
社会	初等教科教育法（社会）	②	
算数	初等教科教育法（算数）	②	
理科	初等教科教育法（理科）	②	
生活	初等教科教育法（生活）	②	

各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数	備考
音楽	初等教科教育法（音楽）	②	○付数字は必修科目
図画工作	初等教科教育法（図画工作）	②	
家庭	初等教科教育法（家庭）	②	
体育	初等教科教育法（体育）	②	
外国語	初等教科英語教育法	②	

(2) 中学校一種（英語）の場合

○教科及び教科の指導法に関する科目

各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数	備考
英語学	英語学概論	②	○付数字は必修科目
	英語学特論	2	
	英語文法論	②	
	英語文法演習	2	
	言語習得研究	2	
	日英対照言語学	2	
	英語コーパス入門	2	
英語文学	英米文学概論	②	
	英米文学史	2	
	英米文学講読A	2	
	英米文学講読B	2	
	中世の英文学Ⅰ	2	
	中世の英文学Ⅱ	2	
	英米文学演習	2	
	海外英語教材比較研究	2	
英語コミュニケーション	英語コミュニケーションⅠ	②	
	英語コミュニケーションⅡ	②	
	英語表現Ⅰ	②	
	英語表現Ⅱ	②	
	英語プレゼンテーション	②	
	English Writing	2	
異文化理解	多文化理解概論	②	
	文化比較論	2	
	グローバル対話論	②	
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	英語科教育法Ⅰ	④	
	英語科教育法Ⅱ	④	

<大学が独自に設定する科目>

(1) 幼稚園一種の場合

授業科目	単位数	備考
保育者論	2	○付数字は必修科目 「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「領域及び保育内容の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目等」について、併せて10単位以上を修得
保育原理	2	
保育課程論	2	
国際理解教育概論	②	
持続可能な教育（ESD）概説	2	
ICT活用教育概論	②	
保育とICT活用	2	
情報モラル教育	2	
地域協働と教育資源活用	2	
障がい児保育	2	
インクルーシブ教育における造形指導	2	

(2) 小学校一種の場合

授業科目	単位数	備考
国際理解教育概論	②	○付数字は必修科目
持続可能な教育（ESD）概説	2	
ICT活用教育概論	②	
情報科学技術と学習支援	2	
情報モラル教育	2	
社会統計と教育	2	
デジタル教材開発	2	
「チーム学校」と学校組織マネジメント	②	
地域協働と教育資源活用	2	
地域教育事情研究	2	
障がい児教育	2	

(3) 中学校一種（英語）の場合

授業科目	単位数	備考
国際理解教育概論	②	○付数字は必修科目
持続可能な教育（ESD）概説	2	
ICT活用教育概論	②	
情報科学技術と学習支援	2	
情報モラル教育	2	
社会統計と教育	2	
デジタル教材開発	2	
「チーム学校」と学校組織マネジメント	②	
地域協働と教育資源活用	2	
地域教育事情研究	2	
障がい児教育	2	

<教育の基礎的理解に関する科目等>

(1) 幼稚園一種の場合

科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数	備考
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理 教育哲学	② 2	○付数字は必修科目
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職論	②	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育経営概論 教育制度論	② 2	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	②	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育総論	②	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論	②	
道徳、総合的な学習の時間、特別指導、教育相談に関する科目	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	教育方法・技術論	②	
	幼児理解の理論及び方法 教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	幼児理解と教育相談	②	
科目 教育実践に関する	教育実習	教育実習Ⅰ（幼） 教育実習Ⅱ（幼） 教育実習指導Ⅰ（幼） 教育実習指導Ⅱ（幼）	② ② ① ①	これら2科目から1科目を選択必修
	教職実践演習	保育・教職実践演習（幼） 教職実践演習（幼・小・中）	2 2	

(2) 小学校一種の場合

科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数	備考
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理 教育哲学	② 2	○付数字は必修科目
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職論	②	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育経営概論 教育制度論	② 2	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	②	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育総論	②	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論	②	
目 及び 道徳、総合的な学習の時間等の指導法に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育の指導法	②	
	総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法	②	
	特別活動の指導法	特別活動の理論と実践	②	
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	教育方法・技術論	②	
	生徒指導の理論及び方法	生徒・進路指導論	②	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法			
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談	②	
科目 に関する	教育実習	教育実習（小） 教育実習指導（小）	④ ①	
	教職実践演習	教職実践演習（幼・小・中）	②	

(3) 中学校一種（英語）の場合

科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数	備考
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理 教育哲学	② 2	○付数字は必修科目
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職論	②	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育経営概論 教育制度論	② 2	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	②	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育総論	②	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論	②	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育の指導法	②	
	総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法	②	
	特別活動の指導法	特別活動の理論と実践	②	
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	教育方法・技術論	②	
	生徒指導の理論及び方法	生徒・進路指導論	②	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法			
教育実践に関する科目	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談	②	
	教育実習	教育実習Ⅰ（中）	②	
		教育実習Ⅱ（中）	②	
		教育実習指導Ⅰ（中）	①	
		教育実習指導Ⅱ（中）	①	
教職実践演習	教職実践演習（幼・小・中）	②		

※文学部教育学科の卒業要件及び履修方法については、教育課程表に示す通りとする。

⑤ 教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定められた科目

区分	該当科目	単位数	備考
日本国憲法	日本国憲法	2	
体育	スポーツ科学	2	
	体育実技	1	
外国語コミュニケーション	英語Ⅰ	2	
	英語Ⅱ	2	
情報機器の操作	コンピュータ基礎演習	2	

⑥ 介護等の体験

小学校及び中学校の教員免許取得を希望する学生は、介護等の体験（特別支援学校 2 日間、社会福祉施設 5 日間の合計 7 日間）を行わなくてはならない。介護等の体験は、本学では原則 3 年次に、体験希望者についてガイドランス及び申し込みを行う。

体験希望者は、社会福祉施設に対する費用を別途払わなくてはならない。